

酪農

奥越管内の乳用牛の飼養戸数、頭数は8戸、302頭（平成30年3月末現在）で、飼養頭数は県内の約36%（公共牧場を除く）を占め、県下有数の酪農地帯となっています。

また、耕畜連携・資源循環型農業を推進し、飼料稲（稲発酵粗飼料・飼料用米）が普及するなど、飼料自給率の向上に努めています。

奥越の気候風土、清涼な空気と水、良質な飼料生産、乳牛のきめ細やかな体調管理の下、高品質の生乳生産に取り組んでいます。



1 生産概況

平成29年の生乳生産量は約220万ℓ（生産額約3億円）となっています。

2 加工

生乳の一部は、福井県産牛乳として販売されています。

また、管内では1戸の酪農家が6次産業化（乳製品・菓子製造）に取り組んでいます。

3 施設紹介

ミルク工房奥越前：

地場で飼われている乳牛から搾った新鮮な牛乳で、アイスクリーム、バターなどの乳製品の加工体験ができます。

県営奥越高原牧場：

県内の酪農家から買い取った子牛を約2年間育て、妊娠させて再び酪農家に販売しています。酪農家から育成部門を切り離す事で、労働軽減と経営効率化が図られます。



奥越高原牧場



福井県産牛乳



稲発酵粗飼料の生産